

5

日本共産党

議席は

市民の願い
実現する

原動力

4.23

八幡市議会議員選挙

住民の声をまっすぐ届け、しっかり働く5議席が必要です

日本共産党は、水道料金値上げなどに自民・維新・公明などが賛成するなか、きっぱり反対。この5議席は、①子どもの医療費無料化の拡大など、住民とともに粘り強く願いを実現②国や京都府と直接交渉。その内容で議会をリード③今も続く「同和行政」など市政のゆがみをただす——市民の願い実現の原動力です。なんとしても押しあげてください。



八幡市議選が始まりました。日本共産党は、山本くにお（64）、いわおひろし（70）、中村せいこう（72）、さわむら純子（67）＝以上現＝、中村のり子（49）＝新＝の5人が、現有5議席の確保をめざします。

日本共産党と、市政与党の自民・維新・公明の対決です。定数21に27人（現職15、新人12）が立候補。一票一票を奪い合う多数大激戦の様相です。



府議会議員選挙でのご支援、ありがとうございました。力および、当選には至りませんでした。引き続き、暮らし・平和の願い実現へ全力をつくします。今度は市議会議員選挙です。日本共産党の5人の勝利にお力添えください。私も頑張ります。 **かめだ優子**

日本共産党の5人全員が 当落を争う大激戦です

なんとしても勝たせてください ご家族・知人に1票、2票支持を広げてください



いわおひろし

身近な相談相手

暮らし、中小企業応援で
元気の出る地域経済



私のお約束

- *水道料金値上げストップ
- *学校給食費の無償化
- *高校卒業まで医療費を無料に
- *国民健康保険料の引き下げ
- *医療と介護の負担軽減
- *身近な買い物環境の整備
- *京阪・石清水八幡宮駅の利便性向上
- *バスなど公共交通の充実

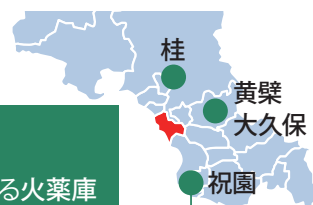
物価高
のなか

大軍拡・市民負担増の政治でいいのでしょうか はっきりものを言い、しっかり働く議員を選んでください

	日本共産党	自民	維新	公明
戦争に巻き込まれる 「大軍拡」	きっぱり 反対 戦争しないための 平和の外交ビジョンを提案	推進 43兆円にのぼる 大軍拡を提案	推進 「まだ踏み込みが足 りない」(馬場代表) とあり、「核共有」 議論開始を提案	推進 自民と一緒に 43兆円もの大軍拡

八幡市からわずか10キロの祝園弾薬庫。他国を攻撃する長距離ミサイル「貯蔵庫」新設が計画され、府南部が出撃基地にされようとしています。

ミサイルは2026～27年に配備される見込みで、今回選ばれる議員の任期中です。**はっきりNO!** と言う日本共産党の議員を選んでください。



精華町・祝園弾薬庫

長距離ミサイルを保管する火薬庫
新設の調査費(4億円)を計上

水道料金(18%) 値上げ (2022年3月議会)	値上げしなくても 財源があること示し 反対	賛成	賛成	賛成
------------------------------	------------------------------------	----	----	----

八幡市は4月から水道料金、国民健康保険料、学校給食費の「3つの値上げ」を実施しました。物価高の中、暮らしをさらに厳しくする値上げです。

市民の暮らしを守る立場を鮮明にできるかどうか——議員・候補者の資質が問われます。

「3つの値上げ」ストップを掲げ、市民の暮らしを守るために頑張る日本共産党の議員を選んでください。

八幡でも府議会でも
「維新の会」

改革どころか、正真正銘の
自民・公明と悪政推進の「与党」です

国庫に返さず

日本共産党は
受け取り自体を拒否

政党助成金 **ため込み 10億円**

その年に使わなかった政党助成金は、法律で原則国庫に返還と決められています。ところが10億4000万円を「基金」として次年度に繰り越し(2022年度)。国民の税金を、ふとこにため込んでいます。

「身を切る改革」を唱えますが、既得権益にどっぷりつかっています。看板に偽りあります。

統一協会と蜜月

癒着解明求める意見書に反対・否決

統一協会系の新聞「世界日報」のインタビューに、馬場代表が国会議員で最多の登場。相当な蜜月ぶりです。

「統一協会と政治家との癒着解明を求める」意見書を反対・否決しました(2022年9月府議会)。

府民の請願に反対

「小中学校の給食無償化」
「選択的夫婦別姓の導入」

2022年
12月府議会

2022年
6月府議会

北陸新幹線・延伸を推進

松井山手まで、京都府の南北を深い地下トンネルで縦断。環境を破壊するうえ、4兆円とも言われる総工費。孫子の代まで大借金に苦しめられます。

“カジノのためにも
新幹線”

吉村大阪府知事

カジノ開発にも触れ「関西経済全体のネットワークが必要だ」
北陸新幹線整備促進シンポジウムin関西
2022年11月25日

